

第二項目ノ米俵給料即時支拂ニツキテハ本月二十日迄ニ全
部支拂シコト

第三項目ノ退職手當準備金一萬圓積立ノ問題ハ一會社解
散等ノ場合ハ中島島吉ニ於テ之ヲ出費スルコトヲ契約セシ
メ之ヲ覺書トスルコト

第四項目ハ問題トセス(以上ノ各項ヲ會社ニ於テ實施スル
コト能ハザル場合ハ現會社理事者ハ責任辭職シナスコト

第五項目ノ會社受生案ニ關シテハ長谷川社長ハ依然社長ト
スルニ組合代表(従業員ニ名)營業部編輯部各代表ヲ舉ゲ
独裁ヲ排スル意見ニ於テ合議制トスルコト

高前親要求項目ノ外手紙中ノ日給(約七百五十圓見當)及
手紙費用トシテ全一封(金額未定)ヲ支給スルコト

ニ兩者間意見一致ヲ見ルニ至レルガ組合側ニアリテハ
一應従業員一之ヲ終リタル上再交渉スルコト、レ會見ヲ終

レリ尚本會見ニ先立ケ同日午前十一時四十分頃總同盟東京
聯合會京口地區支部連絡委員會書記 糸島喜志夫北下十五
名ハ萬朝報社ヲ訪問社長不在ノ為メ同社發行人三宅健壽ニ
面會 別記 寫ノ如キ要請書ヲ手交スルト共ニ可及的速ニ
圓滿解決方善處ヒラシタキ旨社長ニ伝達方ク依頼シタル後
ニ階工場ニ籠城中、従業員一自ク激勵約三十分ニシテ辭去
セリ

(3) 第六次會見

三月十二日午後二時十分ヨリ至二時四十分ニ至ル間本社ニ
於テ勞資會見

會社側 社長 長谷川善治

積賣記者佐渡高一

日大新聞記者高山福良

従業員側組合本部員山本富嘉